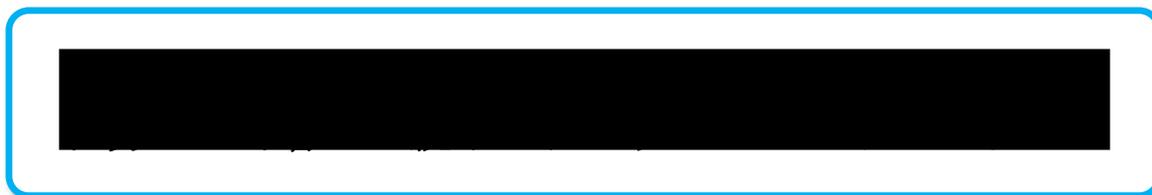


①-① 高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の役割と意義について



天理市では、総合計画において、大和青垣に囲まれた歴史と文化かおる共生都市・天理～創り、つながり、笑顔が広がる、多様な連携で共に支え合うまち～の実現に向けて、官民の垣根を越えて、賑わいを創る「共創」のまちづくりを進めてまいりました。

今年度策定中の福祉分野の計画の上位計画となる「天理市地域福祉計画」においては、「誰一人取り残さない地域づくり」や「包括的な支援体制（てんりシフト）」の推進を掲げ、分野横断的な支援体制の構築を進めています。また、第9期天理市高齢者福祉計画・介護保険事業計画においては、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられることを基本理念に据え、通いの場や活脳教室、地域活動などを通じて、高齢者の社会参加や健康づくり、要介護状態となった後の生活支援や見守り体制の強化等官民連携の取組を展開されています。

今後は、天理市がこれまで培ってきた地域活動や支え合いの基盤を活かし、天理市で暮らし続けることが高齢期における健康寿命の延伸と幸福度（Well-being）及び生活の質の向上につながるよう取り組むとともに、今後の重要な課題として、身寄りのない高齢者や認知症高齢者の増加に伴う支援体制の充実、ならびに介護保険制度の持続可能性を高めるための柔軟で多様なサービス提供体制の確保を図っていくことが必要です。



①-② 計画の構成・体系についての考え方について

次期計画目次（案）

第1章 計画策定にあたって

1. 計画策定の背景と趣旨
2. 計画の位置づけ
3. 計画の期間
4. 日常生活圏域の設定
5. 第9期介護保険事業計画のポイント
6. 計画の策定体制

第2章 高齢者等に関する現状と課題

1. 既存・統計データからみる現状
2. 介護保険事業・地域支援事業等の状況
3. アンケート調査結果にみる高齢者等の状況
4. 第8期計画の振り返りと課題

第3章 計画の基本的な考え方

1. 計画の基本理念
2. 計画の基本目標
3. 計画の体系

第4章 施策の展開

- 基本目標 1 地域で暮らし続けられる仕組みづくり
- 基本目標 2 健康づくりと介護予防・フレイル予防の推進
- 基本目標 3 認知症高齢者等への支援の推進**
- 基本目標 4 高齢者の権利擁護と暮らしの安全・安心の確保
- 基本目標 5 保険者機能の強化と介護保険制度の適正かつ効率的な運営
- 基本目標ごとの成果指標

第6章 介護サービス量等の見込みと保険料の算定

1. 介護保険サービス等の見込み
2. 保険料の算定

第7章 計画の推進体制

1. 計画の推進体制
2. 計画の進行管理
3. 計画達成のための役割分担

計画のビジョンと、重点的に検討すべき課題



【次期計画体系（案）第4章】

大項目	中項目
基本目標 1 地域で暮らし続けられる仕組みづくり	(1) 地域包括支援センターの環境の充実 (2) 生活支援体制の整備と充実 (3) 地域で支える仕組みづくりの推進 (4) 高齢者福祉サービスの充実 (5) 医療と介護の提供体制の充実 [Redacted]
基本目標 2 健康づくりと介護予防・フレイル予防の推進	(1) 高齢者の健康づくりの支援 (2) 高齢者の生きがいづくり・社会参加の促進 (3) 介護予防・フレイル予防の推進 [Redacted]
基本目標 3 認知症高齢者等への支援の推進	[Redacted]
基本目標 4 高齢者の権利擁護と暮らしの安全・安心の確保	(1) 高齢者の権利擁護の推進 (2) 生活環境の整備と災害・感染症対策の推進 (3) 家族介護者の負担軽減 [Redacted]
基本目標 5 保険者機能の強化と介護保険制度の適正かつ効率的な運営	(1) 介護保険制度の円滑な運営と基盤整備 (2) サービスの質の向上と利用者支援 (3) ケアマネジメント力の向上 (4) 介護人材の確保・定着と介護現場の事務負担軽減

※赤字は現計画から見直し提案している箇所

①-③ 法令及び国等の動向について

① 事業者が重要と考える点

国では、令和7年7月に「2040年に向けたサービス提供体制等のあり方」検討会で2040年に向けた課題として、1. 人口減少、85歳以上の医療・介護ニーズを抱える者や認知症高齢者、独居高齢者等の増加、2. サービス需要の地域差。自立支援のもと、地域の実情に応じた効果的・効率的なサービス提供、3. 介護人材はじめ福祉人材が安心して働き続け、利用者等とともに地域で活躍できる地域共生社会を構築が指摘さ

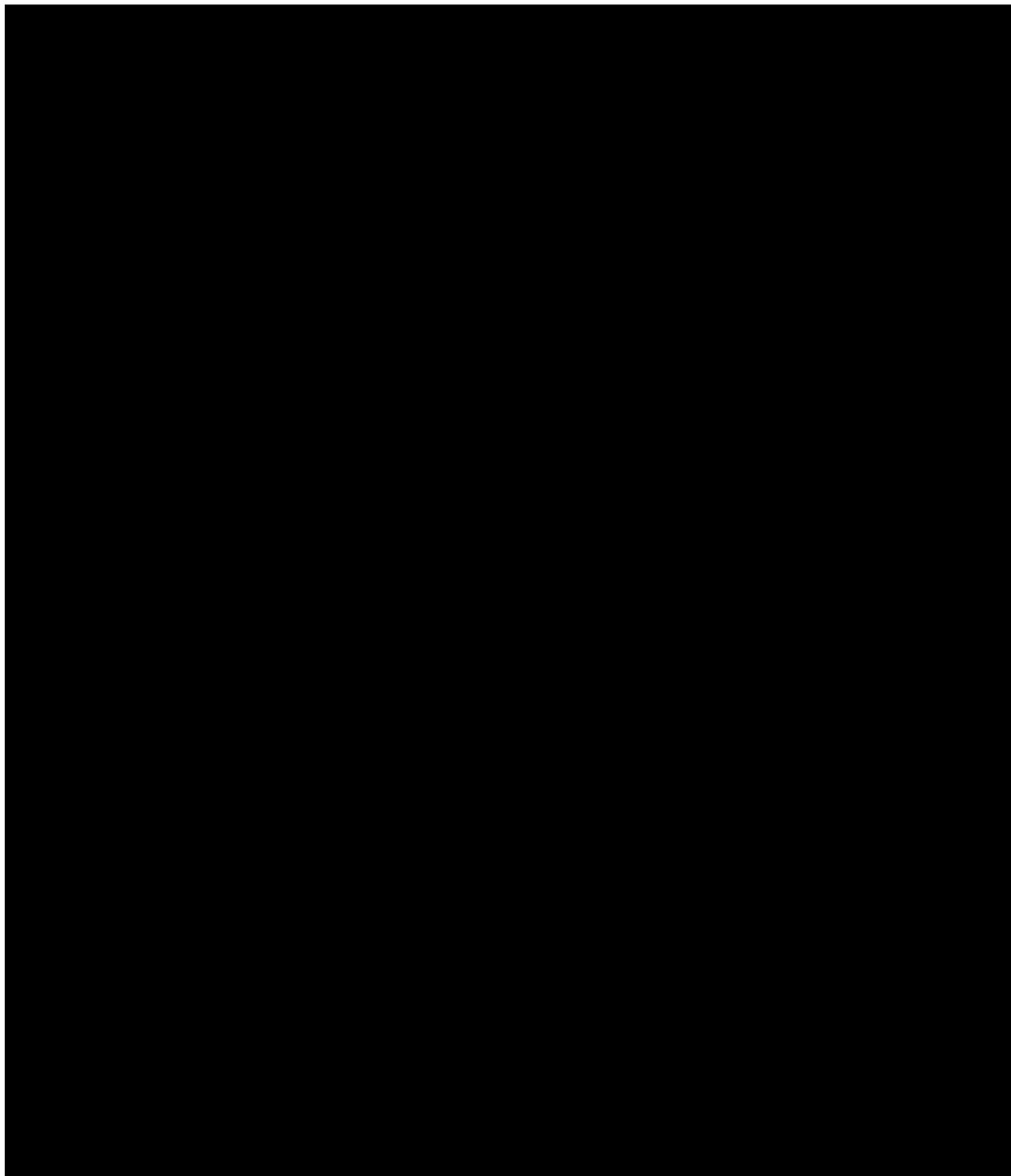
れています。天理市では、本計画の上位計画である地域福祉計画において「誰一人取り残さない地域づくり」や「包括的な支援体制（てんりシフト）」の推進を掲げ、分野横断的な支援体制の構築を進めています。

貴市では、通いの場、地域活動などを通じて、高齢者の社会参加や健康づくりが進められており、これらの取組が健康寿命の延伸や生活の質の向上に寄与していると考えられます。一方で、今後の地域差を踏まえた生活支援や見守り体制の強化が課題となっています。



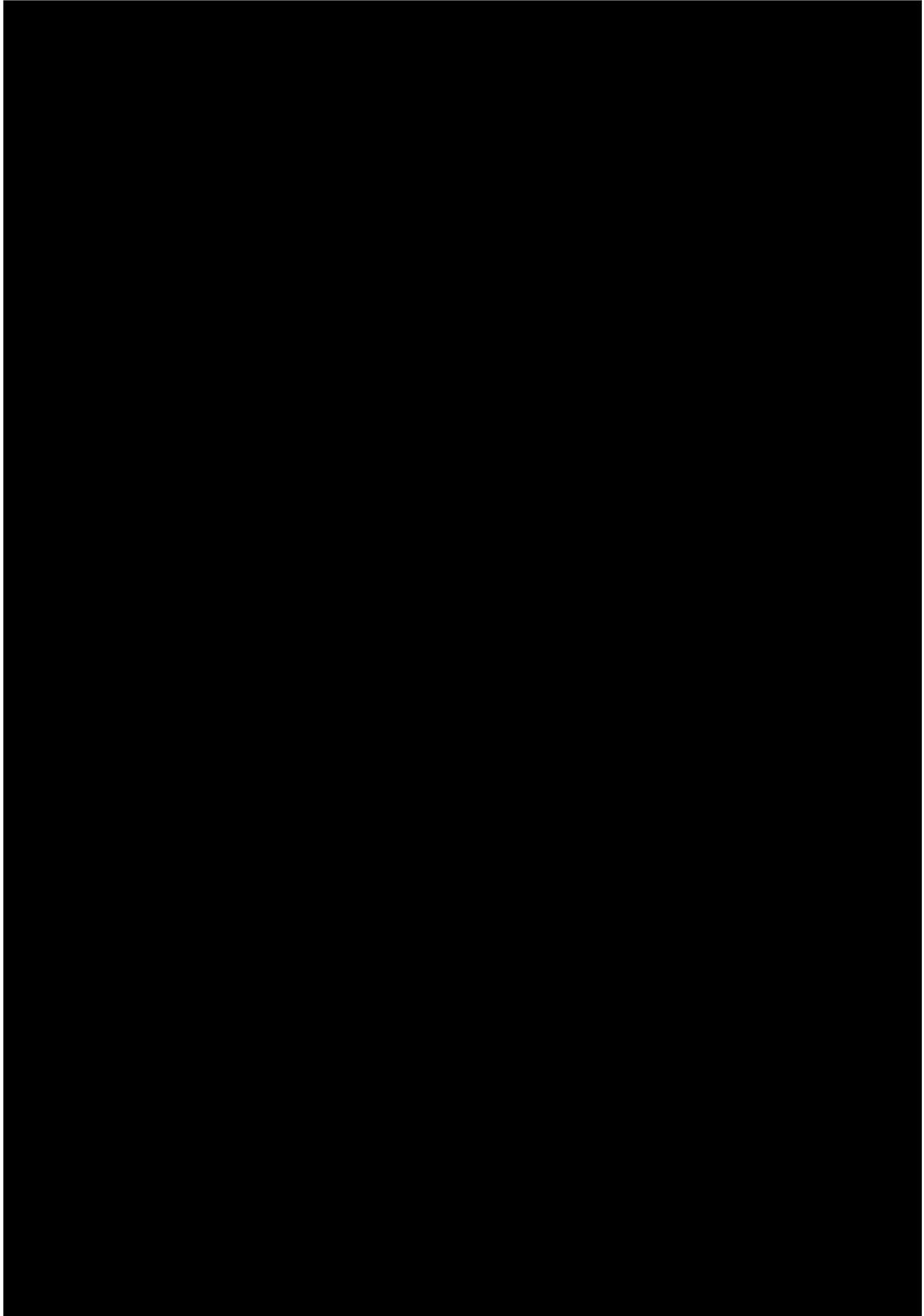
② 国や他の自治体の動向把握の方法

弊社は、全国幅広く調査・計画策定をご支援しております。社内担当者会議を定期開催し、先進的な自治体の策定作業の状況や法令等の改正内容の整理、新たな施策の共有を図っております。こうして蓄積した全国の地方自治体のノウハウを活用し、近年の高齢者福祉に関連する法改正や国の方針を適宜情報提供するとともに、内容を施策体系に取り入れ、計画を策定します。



③ インセンティブ交付金の評価基準等から見える方向性

令和7年度保険者機能強化推進交付金および介護保険保険者努力支援交付金（市町村分）の評価指標に関する集計結果を踏まえ、自治体として特に取り組みを強化する必要のある評価指標に焦点を当て、具体的な検討の方向性を提案します。



①-④ 策定スケジュール

	役割分担	令和8年										令和9年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
① 調査結果の整理・現状把握	市	→ 調査データの提供		→ 確認										
	弊社	[黒塗り]												
② 課題抽出・整理	市	→ 統計データの提供		→ 確認										
	弊社	[黒塗り]												
③ 給付実績集計・分析	市	→ 随時確認												
	弊社	[黒塗り]												
④ 保険料の算出	市				→ 随時確認				→ 随時確認					
	弊社	[黒塗り]												
⑤ 計画書作成	市			→ 計画骨子案の確認				→ 計画素案の確認			→ 随時確認			
	弊社	[黒塗り]												
⑥ 策定委員会の運営支援	市						→ 策定委員会の実施	→ 策定委員会の実施	→ 策定委員会の実施	→ 策定委員会の実施				
	弊社	[黒塗り]												
⑦ パブコメの実施支援	市									→ パブリックコメントの実施				
	弊社	[黒塗り]												
⑧ その他	市	→ 打ち合わせ(月1回程度)												
	弊社	[黒塗り]												

② 業務進行管理

年月日	
令和8年8月中旬	第1回 策定委員会に向けた会議資料等作成・提出 [Redacted]
令和8年9月中旬	第1回 策定委員会に向けた会議への出席 [Redacted]
令和8年10月中旬	第2回 策定委員会に向けた会議資料等作成・提出 [Redacted]
令和8年11月中旬	第2回 策定委員会に向けた会議への出席 [Redacted]
令和8年11月下旬	(1) パブリックコメント用データ作成
令和8年12月上旬 ～ 令和8年12月下旬	(1) パブリックコメントの実施
令和9年1月上旬	第3回 策定委員会に向けた会議資料等作成・提出 [Redacted]
令和9年1月中下旬	第3回 策定委員会に向けた会議への出席 [Redacted]
令和9年2月上旬	第4回 策定委員会に向けた会議資料等作成・提出 [Redacted]
令和9年2月中下旬	第4回 策定委員会に向けた会議への出席 [Redacted]
令和9年2月下旬	(1) 計画書の最終チェック・修正
令和9年3月上旬	(1) 計画書の印刷
令和9年3月中旬	(1) 計画書・データ等納品

②-① 課題等の整理及び本市の現状把握の工夫

① 天理市における高齢者を取り巻く状況と介護保険制度の現状

天理市の高齢者を取り巻く現状と課題から、介護人材確保策など、対応する取り組み（施策）案を提案いたします。※特に下線部は仕様書に基づくものです。

重点検討事項 1

天理市の現状と課題

- 活脳教室・活脳クラブ、ふれあいサロン等が市内各地で展開されており、高齢者の社会参加と介護予防の基盤がある。
- 前回調査では、「自分が認知症になっても自宅で暮らしたい」と考える高齢者が6割超と在宅での意向が高い。
- 公共交通の利便性や外出機会の地域差、免許返納後の移動手段への不安が課題。

課題と解決の方向性

✓

✓

✓

重点検討事項 2

天理市の現状と課題

- 単身高齢世帯や高齢者のみ世帯の増加が進み、認知症高齢者や身寄りのない高齢者への対応ニーズが高まっている。
- 認知症に関する相談窓口の認知度は約3割にとどまっており、相談先が十分に浸透していない。
- 複合的課題が顕在化し、分野別支援だけでは対応が困難な事例が増加している。

課題と解決の方向性

✓

✓

重点検討事項 3

天理市の現状と課題

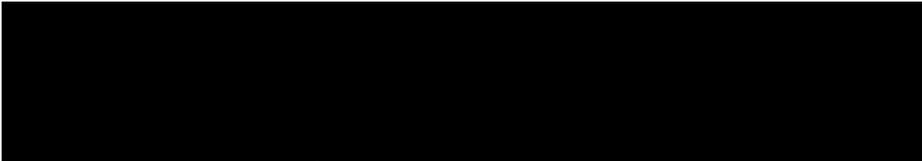
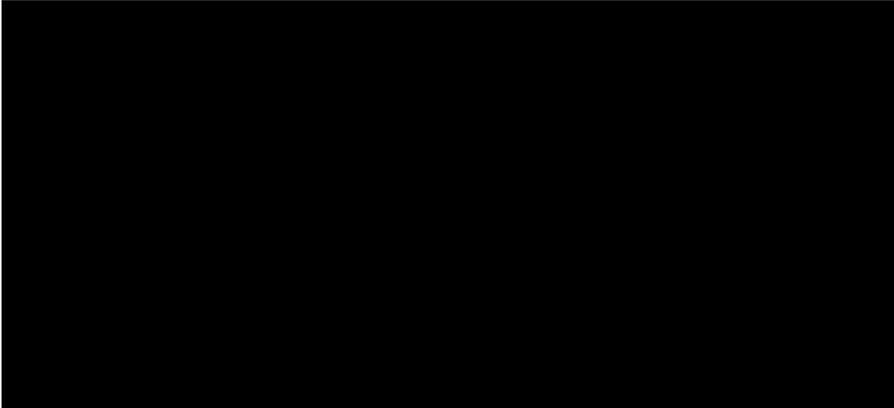
- 要介護（要支援）認定者数は増加傾向にあり、認知症高齢者の割合も4割を超えている。
- 施設・居住系サービスへのニーズが高まる一方、在宅生活を希望する高齢者も多い。
- 介護人材の確保が全国的課題となる中、市内事業所においても人材確保・定着が課題となっている。。

課題と解決の方向性

✓

✓

② 各種データの分析、施策推進課題の整理

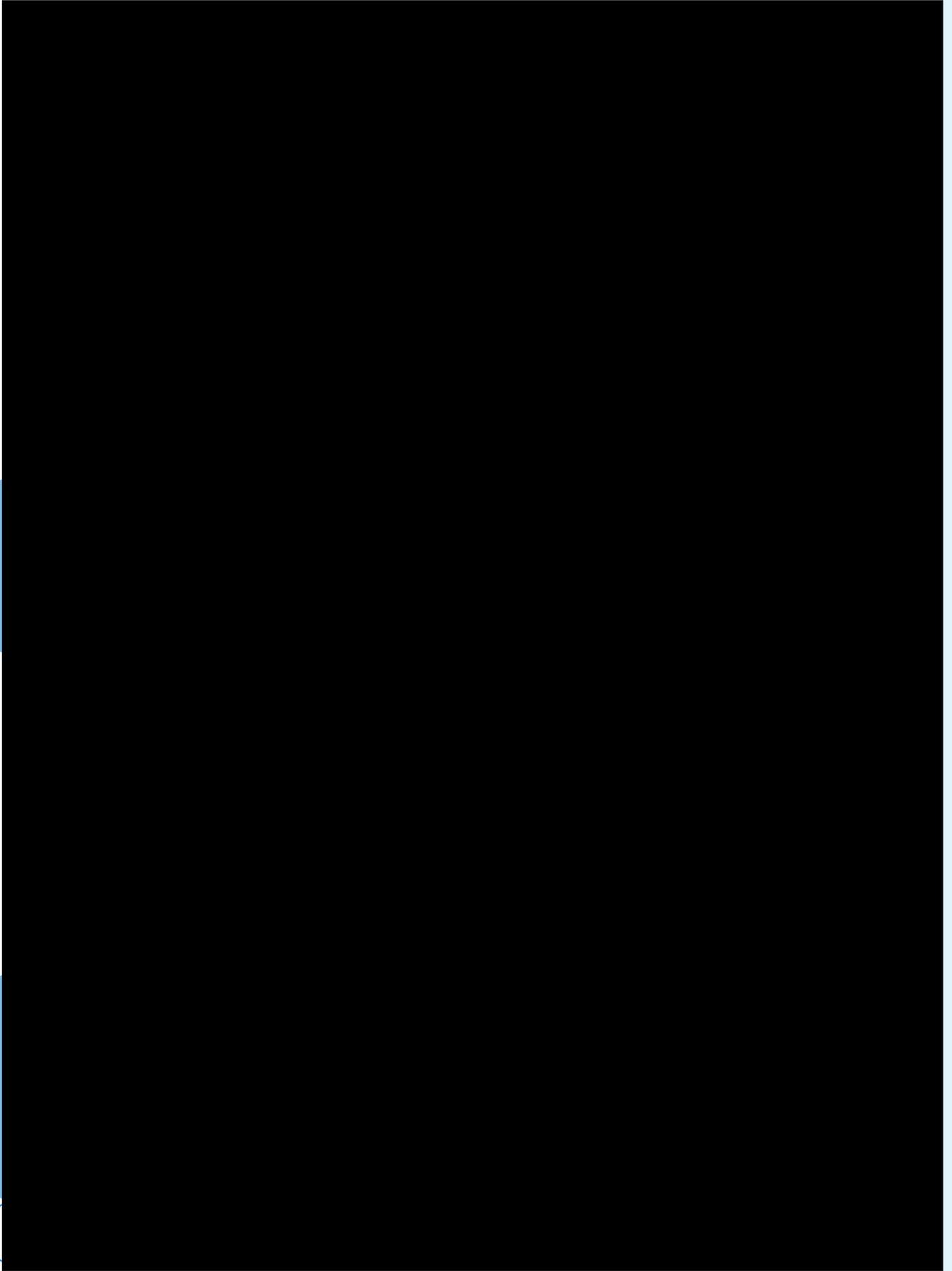
区分	内容
<p>高齢者福祉に関する 基礎調査項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者に関する基礎的な項目について、統計資料からデータを把握するとともに、他市町村との比較を行い、分かりやすくまとめます。市の関連計画について内容を把握し、整合を図ります。 <p>【高齢者の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 総人口・年齢別人口・高齢化率の推移と推計 ○ 要介護度別認定者数・割合の比較・認定率の推移 等 <p>【サービス利用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各サービスの費用額・被保険者1人1月あたりの費用額 等 <p>【高齢者の生活支援の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 介護予防・日常生活支援総合事業 ○ 包括的支援事業 ○ 任意事業 ○ 高齢者福祉施策 等
<p>地域包括ケア 「見える化」システム を活用した分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括ケア「見える化システム」を活用した、介護保険事業実績、地域支援事業実績の全国、県、近隣自治体との比較分析資料を作成します。 
	<ul style="list-style-type: none"> ・  ・ 

③ 給付実績集計・分析の実施について

見える化システムやKDBシステムを活用し、介護・医療・健康分野における各種データを把握し、地域の健康課題、介護サービスの利用状況、高齢者の健康状態、地域包括ケアの状況を分析します。

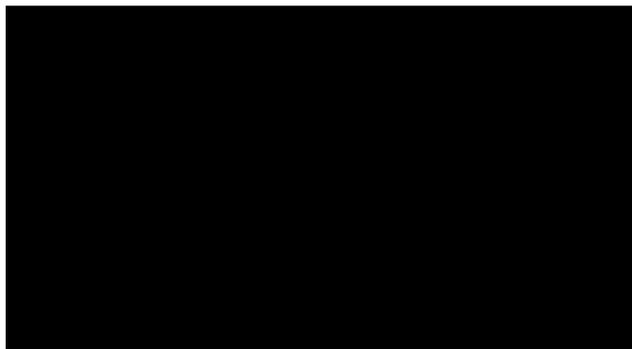
項目	弊社の考え方
「見える化」システム等を用いての分析	<ul style="list-style-type: none">・天理市における現状を把握するため、全国、県、他市との比較により、客観的なエビデンスを把握します。・給付分析の結果を踏まえ、施設の状況、施設の在り方と保険料についての考え方を把握します。・また、市内の施設サービス、居住系サービスの配置状況、在宅系サービスの分布状況等の地域資源を整理します。

④ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の追加分析



③-① 計画策定にあたり、きめ細やかな支援について

① 各種分析結果を計画へ反映させる具体的な方法



【高齢者人口の推移と将来推計（イメージ）】



【各日常生活圏域別の年齢別人口と高齢化率】



現行計画

アンケート
結果
統計データ
ヒアリング
結果
事業評価
等

②

「都道府県・市町村向け認知症施策推進計画策定の手引き」では、認知症の当事者・ご家族の意見を把握することが必要とされています。

区分	内容
対象者の選定	
調査実施の方法	
調査内容	
調査実施の留意点	

③ 地域別包括ケアシステムの推進に向けた成果目標・指標等の設定



※ [Redacted text]

④ 地域包括ケアシステムの更なる深化・推進に向けた施策立案

計画策定では、高齢者に関する重点施策についての施策の立案を支援します。

検討事項	視点	視点を踏まえた弊社の考え方
在宅療養について	[Redacted]	[Redacted]
住宅問題について		
孤立・孤独対策		
8050問題について		
ヤングケアラー支援		
高齢者の就労支援について		

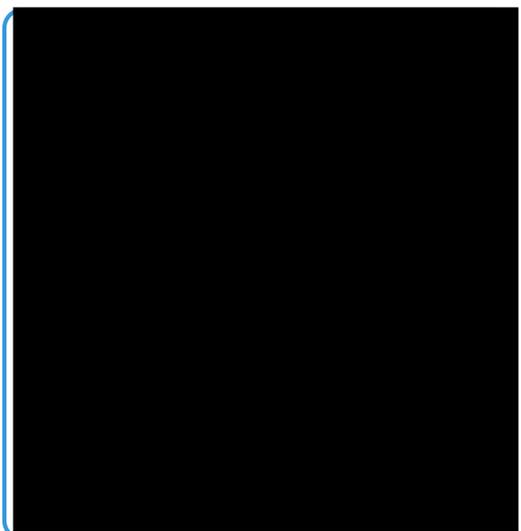
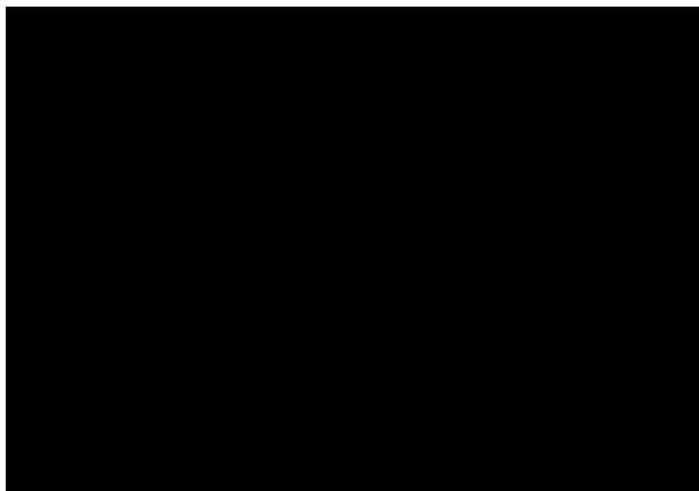
⑤ 介護保険料のシミュレーションについて

将来人口推計

人口推計は、要介護認定者の推計や介護保険料を算出する際の大元の推計となることから、近年の人口推移を踏まえた正確な推計が必要となります。弊社では、①国立社会保障・人口問題研究所が示している人口推計など既存の人口推計を活用する方法、②直近5年間の住民基本台帳での人口の推移を基にしたコーホート変化率法で算出する方法を比較分析することで、認定者数の推計、保険料の算出に適した人口推計の手法について考察し、正確な算出方法を提案いたします。

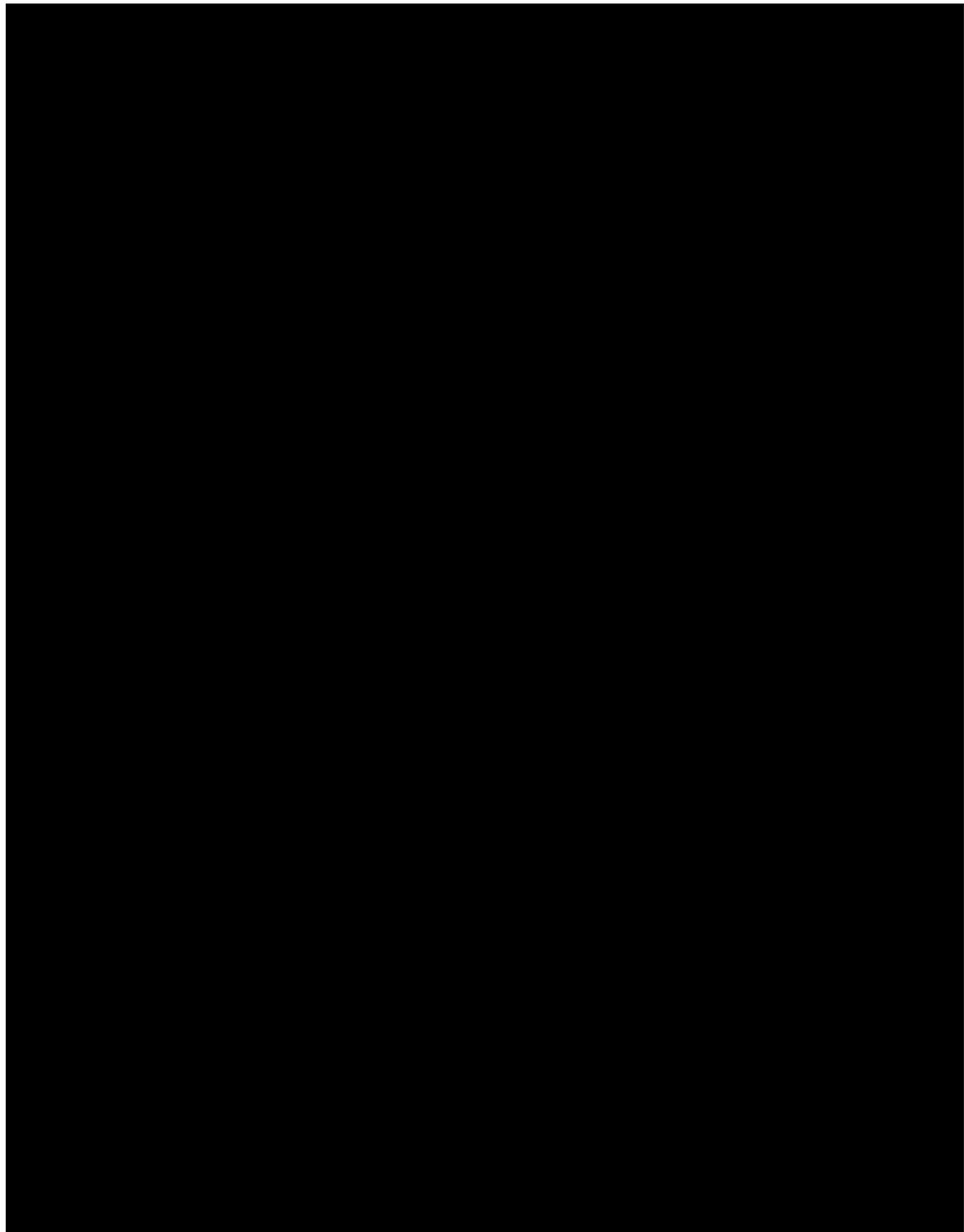
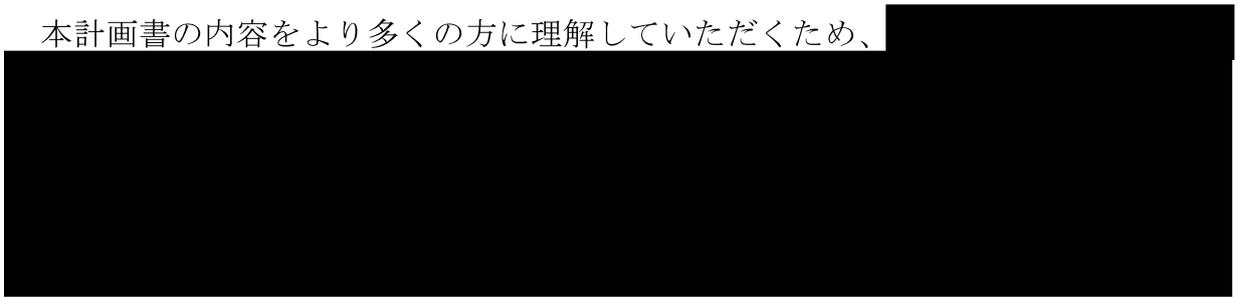
要介護（要支援）認定者推計

過去5年間の介護度毎の認定率の推移から、右の2パターンで将来の介護度毎の認定者数を推計します。後期高齢者、要介護認定者の近年の傾向を分析することで保険料の算出に適した認定者推計の手法について提案させていただきます。

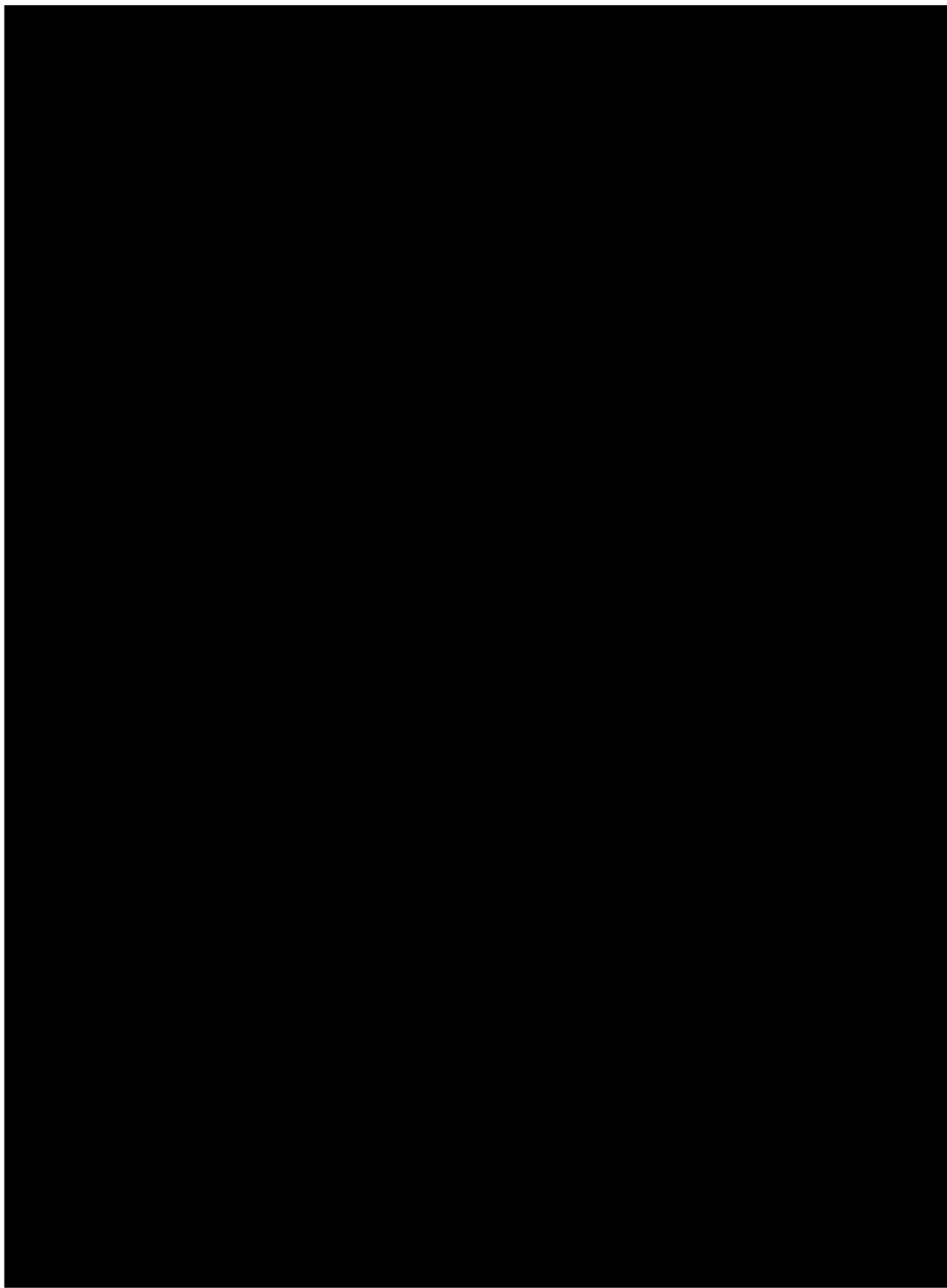


⑥ 計画書作成についての提案

本計画書の内容をより多くの方に理解していただくため、



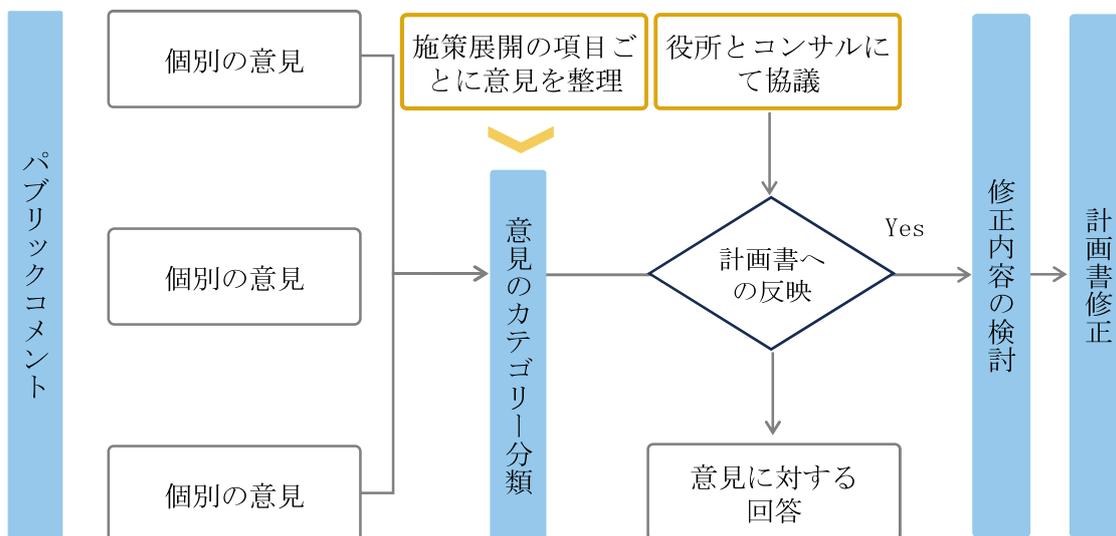
③-② 計画策定委員会、庁内策定会議開催における支援について



③ パブリックコメントの実施支援について

パブリックコメントでの意見の集約にあたっては、意見を客観的に把握・分析し、計画の施策に沿って意見をカテゴリー分類したうえで、計画に反映が必要な内容か、参考とする意見なのかを整理し、意見の内容をとりまとめます。

【 パブリックコメントの意見集約 】



パブリックコメントの実施にあたっては、計画書を公開し広く意見を求めることが重要ですが、文章だけでは内容の把握が難しい場合があります。そこで、

